別紙１

国立公園等資源整備事業費補助金

国立公園におけるグランピング促進事業実施計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |
| 国立公園名及び実施地区 |  |

［本事業の目的］

|  |
| --- |
| ※訪日外国人利用者の地域での体験滞在の満足度向上のために、本事業をどのような目的をもって実施するのか記載する。 |

［本事業の概要］

|  |
| --- |
| ※本事業の概要（特に上質な宿泊体験、アクティビティ、食事等の提供のために実施する具体的内容）をわかりやすく記載する。 |

［環境省主要施策との関連・地域との連携］

|  |
| --- |
| ※環境省や地方公共団体の協定などの公的な位置づけの活動などである場合は記載する。※地方公共団体やDMO、観光協会等の理解や協力の見込み、当該地域内の事業者と適切な連携体制の構築の見込みについて記載する。※生物多様性の保全に関する法律に基づく計画等に依拠した活動と連携があれば記載する。 |

［地域資源の保全および持続的な活用］

|  |
| --- |
| ※その地域ならではの資源や魅力を活かした事業等、地域経済の持続的な発展に資する事業であれば、その具体的内容について記載する。※高付加価値のサービス提供等、その地域における多様な宿泊体験の提供に資する事業であれば、その具体的内容について記載する。※事業内容に自然環境への負荷を低減する取組が記載されている等、環境保全に配慮した事業であれば、その具体的内容について記載する。※売り上げの一部が国立公園の景観保全に活かされる事業となっている等、良好な自然環境の保全に資する事業であれば、その具体的内容について記載する。 |

［目標とする成果］

|  |
| --- |
| ※本事業の目標（数値目標）及びその達成状況把握の方法を記載する。 |

［本事業の効果・継続性］

|  |
| --- |
| ※本事業により期待される波及効果があれば、その具体的内容について記載する。※活動の継続について見込みを立てており、補助事業終了後も組織として活動を継続する体制がある場合には、その具体的内容について記載する。 |

［地権者等との調整状況］

|  |
| --- |
| ※本事業で利用する土地の地権者その他の必要な関係者との調整状況を記載する。 |

［事業実施体制］

|  |
| --- |
| ※本事業の実施体制を図など使ってわかりやすく記載する。（別紙を添付してもよい）※地方公共団体やDMO、観光協会、当該地域内の事業者との連携体制について記載してもよい。 |

［事業実施スケジュール］

|  |
| --- |
| ※事業の実施スケジュールを記載する。（別紙を添付してもよい）※次年度以降の計画がある場合は記載してもよい。 |

［自然公園法の手続き］

|  |  |
| --- | --- |
| 　本補助事業の一環として工作物の設置等を実施する場合、自然公園法第１０条に規定された国立公園事業に係る手続き、法第２０条及び法第２１条に規定された特別地域及び特別保護地区にかかる手続き、若しくは法第３３条に規定された普通地域における届け出の手続きを要する可能性があるため、本補助事業申請前に必ず、所管する自然保護官事務所等へ照会し、手続きが必要かどうか、また、工作物の設置等に関して留意すべき事項等について確認してください。 | 確認後☑記入 |
|  |

注１　事業に関する内容を確認できる、補助事業の実施概要に関する補足資料、工作物等の立面図・配置図、補助事業に関する見積書、法律に基づく登録に係る通知の写し等をできる限り添付すること。（申請時に準備ができない場合、交付申請後追加の提出を求めることがある。）

注２　各記入欄の幅は変更可だが、全体としてＡ４用紙４枚に収めること。